

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/12/14

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.30	-0.40
JPY/THB	0.2471	0.0017
USD/JPY	142.89	-2.56
EUR/THB	38.39	-0.13
EUR/USD	1.0874	0.0080
USD/CNH	7.138	-0.056
SGD/THB	26.48	-0.13
AUD/THB	23.52	0.10
USD/INR	83.40	0.02
USD Index	102.87	-1.00

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.515	-0.004
10Y (THB)	2.846	-0.005
5Y (USD)	3.970	-0.249
10Y (USD)	4.016	-0.184

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,982.3	4.5
WTI (Oil)	69.47	0.86
Copper	8,330.0	-25.0

Stock

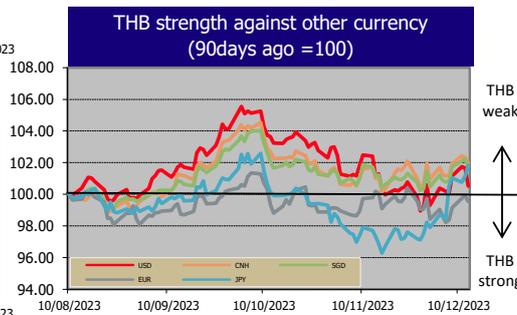
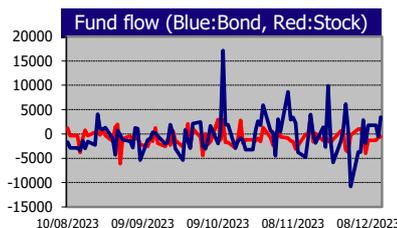
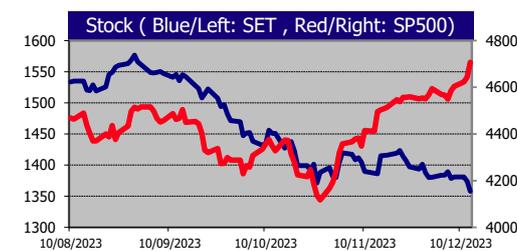
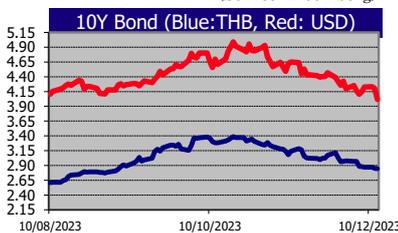
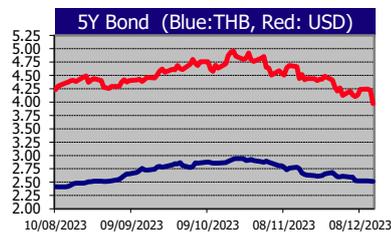
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,357.97	-15.95
NIKKEI (JP)	32,926.35	82.65
DOW (US)	37,090.24	512.30
S&P500 (US)	4,707.09	63.39
SHCOMP (CN)	2,968.76	-34.68
DAX(GER)	16,766.05	-25.69

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(542)	226.3
Bond net flow	3,447	4002.4

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。35パーツ台後半で取引を開始したドルパーツは、前日の米11月CPIの結果を受けた流れを継ぐ格好で底堅く推移。ただ、海外時間にFOMCの結果発表を控える中、値幅は限定的なものに留まった。また、バンコク時間午前中にはタイ中銀による金融政策委員会(11月29日開催分)議事要旨の公表もあったものの、影響は限定的となっている。海外時間、注目されたFOMCでは市場予想通り政策金利は据え置かれ、メンバーによる金利見通し(ドットチャート)では2024年度中に0.75%(3回分)の利下げ見通しを示された。声明文においても経済活動の伸びは「鈍化した」とし、インフレについては依然として高止まりしているとしつつも、「この1年で緩和した」との認識が示され、総じてハト派な内容と捉えられると米金利低下、ドル売りで反応。ドルパーツも35パーツ台前半まで急落した。その後のパウエルFRB議長の会見でも金融引き締め縮小の時期について議論されたことが言及され、ドルパーツは下落幅を拡大。結局35.30レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は大きく下落。145円台前半で取引を開始すると、実需の買いやFOMC前の調整からじりじりと上昇。145円台後半の水準で海外時間に入ると、FOMCでは金利見通しのほか、個人消費支出(PCE)についても2024年、2025年の見通しを引き下げる等ハト派な内容となったことを受け、ドル円は一時142円台半ばまで急落。終盤にかけては小幅に水準を戻したものの、142.89レベルと、前日終値対比大幅なドル安水準でクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日の米FOMCでは予想通り政策金利の据え置きが決定され、FRBによる政策金利見通しにも修正が入った。市場では今後とも各国の利下げ時期やそのスピード感に思いを巡らし、その反応に応じて相場が上下する展開が続くそう。結果として今年7月が最後の利上げとなった米国については、過去の経験則では利上げ停止から概ね1年後に利下げが始まるが多かったことを踏まえると、今回の利下げ時期は来年6月頃が濃厚ということになるが、為替市場においてその間ドル売りが進むか、あるいはドル買いが止まるかどうかはまた別問題だろう。先週発表の11月雇用統計は引き続き米労働市場の底堅さを示す結果となったほか、今週発表された米11月CPIも予想比小幅上振れるなど、実は米国で決定的に弱い経済指標はまだ発表されていない。今後景気失速懸念が高まるデータが確認されたとしても、米長期金利への調整とともに米株式市場に資金が流れ、それがドル買いを後押しする経路もある。米金融政策は転換点を迎えたとはいえそうだが、為替市場の今後の展開については判断を持たずに構えておきたい。(吉田)